

STEM REPORT コスモ PA 2020.12.26 SAT

12月26日（土）午後、コスモサイエンスコース2年生 第8回PAとして「名城大学連携講座」を実施しました。

理工学部応用化学科 教授 永田 央（ながたとおし）先生と Zoom でつなぎ「人工分子で光合成を組み立てる」というテーマで講義していただきました。

前半は、人工光合成の目的と課題。とにかく CO_2 を何とかしたい！ 増え続ける大気中の CO_2 を人工的に有機物に変え、のぞましい炭素循環を作り出す、という目的を理解します。光合成の化学的しくみが『酸化・還元』であることに驚きつつ、触媒が鍵を握ることも新たに知りました。後半は、「勉強の先にあるもの」。永田先生ご自身の恩師との出会い、言葉との出会い、書との出会い、留学先で感じたことなどをたくさん紹介してくださり、『学ぶこととは』について深く考えることができました。永田先生、ありがとうございました。



受講生の声：教科書で学んだ酸化還元を踏まえて考えるので、いつものPAと比べ、自分の手元で考えることのできる問題だった。分かりやすかった。

すべての植物にマンガンが含まれるのはなぜか、自分も知りたいと思った。

CO_2 を減らす、ばかりに意識が行っていた。 CO_2 を使うというのは新しい感覚だった。分からないへの耐性をつける、というのが印象に残った。

冬休みに1冊本を読もうと思っていたので、「教養の書」を読むことにした。